

脱原発・放射能汚染を考える

原子力規制委は原発でのコロナ対策に全力をつくせ！ 六ヶ所村再処理工場の「審査書案」の了承に抗議する！

新型コロナウイルス感染は終息の目途が立たない中で原子力規制委は、傍聴者なしの不正常な状態のまま適合性審査を続けている。そして、青森県の六ヶ所再処理工場について、5月13日に事実上の合格書である「審査書案」を了承した。そしてパブコメを行ってから、新基準に「適合」とする予定である。再処理工場の審査では、多くの問題が解決されておらず、規制委はコロナ緊急事態で反対行動が規制されていることを利用して「火事場泥棒」的に決定した。

六ヶ所再処理工場の稼働を認める「審査書案」

六ヶ所再処理工場の審査では、施設直下の六ヶ所断層及び大陸棚外縁断層の指摘が無視され、基準地震動の策定でもばらつきが考慮されておらず、巨大噴火のリスクも無視されている。火山灰の厚みは55センチに引き上げたが、密度を小さく見積もり、結果的に過小評価のままである。高レベル廃液貯槽にプルトニウムが臨界量を超えて含まれて、臨界事故を起こす危険性も指摘されていた。

世界的には、使用済燃料は、どう安全に長期間保管するかが課題となっており、危険な再処理を行いMOX燃料を作ることは中止されている。核兵器製造につながり、放射能汚染を拡大する再処理工場は廃止すべきである。

東海第二原発の稼働準備工事は中止せよ

東海第二では現在、防潮堤建設や非常用電源設備の設置など事故対策工事が続く。原電によると、東海原発の廃炉作業と合わせて約1700人が働いている。再稼働反対の団体だけでなく、現場の工事関係者も「コロナが落ち着くまでは止めてほしい」と工事の中止を訴えている。

「脱原発・放射能汚染を考える」通信 創刊10年突破、おめでとうございます

鎌田 慧(ルポライター)

こと、原発ですから、長ければいいとは言えませんが、この運動の持続は、緊張感の持続として、祝うべきだと思います。

「脱原発・放射能汚染を考える」通信は、手作り、A4版2ページか4ページですが、小さいながら、丹精こめた棚田のような美しさがあります。珠玉の通信です。

小さいながらカラー写真が数葉が必ずはいっていて、職人芸を誇っています。

もちろん、形式だけでなく、脱原発情報が、よく吟味されて編集され、沖縄、反戦、教育などの、アクチュアルな批判が小気味よくはいっています。

老舗の原子力情報室の「反げんぱつ新聞」、たんぼぼ舎の「週刊金曜ピラ」などとともに、原発廃炉に至るまでの道標です。いつも、感嘆しながら、読んでいます。

鎌田慧さんに激励のメッセージをいただいた

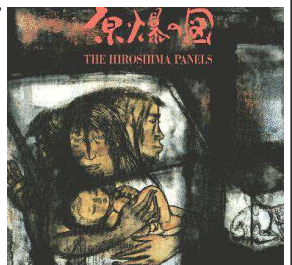
私が鎌田さんの存在を知ったのは、設備関連会社で労働運動に参加し始めた頃に読んだ「自動車絶望工場」であった。トヨタにおける強権的労務管理、現場での労働内容、労働強化と合理化を、季節工の労働と生活の視点から見る姿勢に感銘を受けた。以後、「自動車絶望工場」の表紙を見ることで初心を再確認させてもらっている。(N. N)

朝日新聞社世論調査 (5月/3日) 安倍政権の下での改憲は絶対反対

- ◆安倍内閣を支持しますか。支持しませんか。 支持する42▽支持しない48
まだ安倍政権支持が42%も
- ◆自民党総裁の任期は、自民党の決まりで、連続3期までになっています。この決まりを変えて、安倍首相が4期目も続けることに賛成ですか。反対ですか。 賛成26▽反対66
安倍4選には66%が反対
- ◆次の首相は安倍政権の路線を引き継ぐほうがよいと思いますか。引き継がないほうがよいと思いますか。 引き継ぐほうがよい34▽引き継がないほうがよい57
次の政権は安倍路線を引き継ぐな
- ◆国会が政府をチェックする役割を果たしていると思いますか。果たしていないと思いますか。 果たしている18▽果たしていない76
憲法九条の改悪には絶対反対
- ◆以下は、憲法第9条の条文です。(憲法9条条文は省略) 憲法第9条を変えるほうがよいと思いますか。変えないほうがよいと思いますか。 変えるほうがよい27▽変えないほうがよい65
憲法改正の賛否は拮抗している
- ◆いまの憲法を変える必要があると思いますか。変える必要はないと思いますか。 変える必要がある43▽変える必要はない46
安倍首相の下での憲法改正には絶対反対!
- ◆安倍首相は憲法改正を目指すことを明言しています。安倍政権のもとで憲法改正を実現することに、賛成ですか。反対ですか。 賛成32▽反対58

原爆の凶美術館の存続の危機 緊急募金で美術館を支えよう

被爆の惨状を描いた丸木位里・俊夫妻の連作「原爆の凶」を所蔵し展示する「原爆の凶丸木美術館」(埼玉県)が、存続のために緊急の寄付を呼びかけている。



コロナ禍で多くの文化施設が休館する中で、行政や企業からの助成が少ない私設美術館は、休館による減収で運営が厳しくなっている。

先月9日から休館となり、入館収入はゼロ、団体予約もキャンセル、貸出し、巡回展も中止や延期となっている。

緊急募金は、郵便振替で送れます。

丸木美術館: 00150-3-84303 通信欄に「緊急募金」

茨城県議会は県民の要求に応じて「いばらぎ原発県民投票」を実施せよ!

政権好みの「検事総長」を作る「内閣判断での役職定年延長」の審議強行を止めろ！ 森友疑惑隠しの黒川東京検事長を検事総長にするな！

5月8日に、「検察間の定年引上げと内閣の判断で「役職定年」を延長できるようにする「検察庁法改正案」の審議が与党によって強行された。この発端は、安倍首相が「森友問題を採消してくれた黒川東京高検検事長の定年を延長し、検事総長にさせる」ためのものであった。

コロナ禍のなかでの「火事場泥棒」的な、三権分立の破壊と検察の私物化には、全国から反対の声が上がっている。反対署名は3日で500万を超え、多くの著名人を含むツイートが溢れている。しかし安倍政権は強行突破の姿勢を崩していない。反対の声を国会へ集中しよう。

大阪人権博物館 立ち退きへ (5/9 朝日)

大阪市が誇る平和博物館「ピースおおさか」、そして人権博物館「リバティーおおさか」の2つが大阪維新の会によって破壊されている。存続と引き替えに展示内容が大幅に改悪された「ピースおおさか」、そして今回は「リバティーおおさか」は地裁の「和解」で立ち退きとなった。橋下元知事の「差別や人権などネガティブな部分が多い」という独断的な一声で人権専門の博物館が破壊された。

トランプの妨害で「紛争停戦決議案」不採択 (5/9 朝日)

国連安保理事会は、コロナの感染拡大を受けて、仏国などが作成した世界各地の紛争の停戦を呼びかける決議案の採択が出来なかった。決議案中に世界保健機構(WHO)への言及を巡り、常任理事国の米国が反対した。決議案は90日間の停戦を訴えている。米国に配慮して「WHO」を直接は記載していないが米国は反対した。

「改憲」と「戦争」に導く教科書NO！ 全国集会 中学校教科書採択に向け

今年が中学校教科書の採択の年である。大阪府では、育鵬社の教科書が、大阪市、東大阪、四条畷、河内長野、泉佐野で使用されている。このような状態は今年で終わらせたいものである。「改憲」と「戦争」に導く教科書を拒否しよう！

「コロナ」を理由にした密室採択を許さず、教科書展示会を開かせ、市民が参加し、アンケートを通じて意見を教育委員会に届けよう。

日時:6月7日 13:30~16:30

場所:国労会館3階大会議室

主催:「戦争教科書」はいらない!大阪連絡会

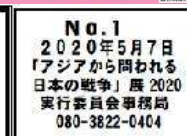


「アジアから問われる日本の戦争」展は延期 意欲を維持して「戦争展ニュースレター」を発行!

戦争展は延期になったが、事務局が「戦争展ニュースレター」を発行した。

「コロナなんかには負けないで/延期を好機として内容を深めて拮げて/戦争展をより充実したものにしていきましょう」と事務局は意気軒昂である。

ニュースご希望の方は編集局に連絡いただければMAILで送ります。



吉村文洋大阪府知事の「コロナ対策」にだまされるな！ 医療を、介護を、教育を破壊してきたのは、大阪維新の会だ！

緊急事態宣言が発令されて以来連日、吉村大阪府知事がテレビに登場している。そして「毎日新聞」が6日に行った世論調査では「コロナで最も評価している政治家」のトップに吉村大阪府知事が大差を付けて登場した。(小池東京都知事が2位、安倍首相が3位である。)

この上位3人の共通した特徴は、首長による「独裁的」な意思決定である。「学校休校」「布マスク」「秋学期制」「十三病院」など該当機関での論議さえしていないという。

吉村氏の「(休業?)解除条件」である「大阪モデル」は、安倍政権の緊急事態延長を待って発表された。そして出口条件を明示しない延長批判として圧倒的に支持された。「ルート不明の新規感染者<10人」「陽性率<7%」「重症病室<60%」は既に大阪での状況であり、このままの状況で進むと15日には解除される。なんとなく科学的で、「自粛」疲れの市民、経営が危機になっている中小企業当事者にとっての「朗報」となっている。

病院を削減し、介護を破壊した維新政治

今回の新型コロナウイルス感染対策の医療体制づくりで、保健所の過負荷、医療崩壊となりかねない病院ベッド数と機器の不足、そして人員不足、老人介護施設における医療体制の貧弱さと、クラスター発生時の介護労働者への感染防止体制の不備、人員不足等が問題となった。

吉村市長(当時)によって、2014年4月には大阪市立の3市民病院は、非公務員型の地方独立行政法人とされ、

住吉市民病院は近接地に府立病院があることで廃止された。千里救急救命センターへの補助金が廃止された。特別擁護老人ホームへの建設補助金が削減され、介護保険料の基準額の増額、障がい者・福祉団体への補助の廃止が行われた。まさに医療崩壊の原因の1つは維新であったのだ。しかも維新が推進している「都構想」では一層の病院統廃合が想定されている。

思いつきの「秋学期」で教育混乱

学校の休校が延長される中で、吉村知事や小池知事は、「思い切って新学期を9月に」と発言した。極めて重要なことなのに、各自治体の教育委員会での論議もない思いつきであった。「子どもの学ぶ権利」を守るためには、学校の再開に最大の努力をするべきである。思いつきで教育現場に混乱をもたらすべきではない。

大阪市の自治を破壊する「都構想」に反対

吉村知事は緊急事態宣言が知事に与える裁量権を利用しながら「独裁」的運営をしている。「都構想」もまた大阪府知事に多くの権限を集中するシステムである。

維新の橋下元市長は、労働組合破壊、学校での日の丸・君が代の強制、公務員労働者の政治活動の禁止、「運転手に対する髭の禁止」などを独断で行い、大阪市の民主的運営を破壊した。「都構想」はその仕上げである。

民主主義を破壊し、大阪を「維新」の 城下町にする「都構想」を否決しよう

「脱原発・放射能汚染を考える」No219 (2020/5/15)

アジアから問われる日本の戦争展

No.1
2020年5月7日
「アジアから問われる日本の戦争」展 2020
実行委員会事務局
080-3822-0404

「アジアから問われる日本の戦争」展 2020

【メインイベント】
池田香代子 講演会
抵抗について～アウシュビッツ・花岡～

【アートイベント 演劇と音楽】
田隆×川口真由美
feat. Swing MASA
九条への生還 ～米軍連兵アレク・ネルソンの闘い～

2020年
5月4,5日 [GW]
10時～20時

エルおおさか 7,9階
入場無料

「アジアから問われる日本の戦争」展2020 実行委員会
〒545-0051 大阪府大阪市東区東船場1-1-1 10F
TEL 03(822)2-0404

「アジアから問われる日本の戦争」展 2020 開催を残念ですが延期します

「アジアから問われる日本の戦争」展の準備を
されていた参加団体の皆さん
「アジアから問われる日本の戦争」展に参加を予定されていた皆さん

「アジアから問われる日本の戦争」展 2020 事務局は、新型コロナウイルスの感染拡大によってエルおおさかが当面閉館という事態をうけて、以下のことを決定し報告します。

■エルおおさか閉館という戦争展開催の基本条件が失われた以上、止むを得ず「新型コロナウイルス感染収束の目途がつくまで『アジアから問われる日本の戦争』展 2020 延期」を正式に決定します。

■4月13日に予定していた「第6回戦争展実行委員会」を延期して、新型コロナウイルス感染収束の目途がつき「アジアから問われる日本の戦争」展 2020 の開催準備再興にあたる段階で再度「第6回戦争展実行委員会」を改めてもつことにいたします。

■新型コロナウイルス感染の状況、会場の状況を判断して、映画会など開催可能な企画から再開し、戦争展への機運を盛りあげましょう！

■事務局が中心となって、戦争展ニュースレターを発行します。ニュースレターは簡易な4頁程度で、メールを通じて配信します。必要な場合は各団体で印刷配布をお願いします。

まず第1号は、戦争展参加団体の紹介や展示・企画の紹介をします。その後の号は、戦争展に向けた各団体の詳しい取り組みや企画、映画等の紹介、意見を順次掲載し継続的に発行します。

「アジアから問われる日本の戦争」展 2020 事務局

「戦争展ニュースレター」を通じて、戦争展への各団体の取り組みの報告、思いを交流しましょう！

「アジアから問われる日本の戦争」展 2020

【講演】原爆と復興 (入場無料) 5/3
講演：日本原爆被害
池田香代子 講演会
抵抗について (5月4日20時)

【アートイベント】演劇と音楽 (入場無料) 5/4
田隆×川口真由美
feat. Swing MASA
九条への生還 (5月5日10時)

【映画・映倫上映】 (入場無料) 5/4
加刺の歴史を辿って
～女性戦時特報記者の追憶～
加刺の歴史を辿って
～女性戦時特報記者の追憶～

【今年の出展予定団体】
アジア民衆歴史センター/イアンフ・アクション・オオサカ/1%の底力で朝鮮学校の民族教育を支える会/大阪城狛犬会/韓国の原爆被害者を救済する市民の会/関西わだつみ会/写真展フクシマ実行委員会/侵略と加害の教科書展示/設置理念に則ったピースおおさかを取り戻す会/ZENKO堺・河内長野(沖縄の展示)/戦死した叔父の遺した卒業アルバム/戦跡写真展/高槻「タチソ」戦跡保存の会/屯鶴峯地下壕を考える会/中国人強制連行/とめよう戦争！伊丹自衛隊・防衛省申し入れ行動/豊中女性史を拓く会/南京大虐殺60周年大阪実行委員会/日中友好協会大阪府連合会/日中友好協会堺支部/日本近現代史を問う会/「バターン死の行進と三池炭鉱捕虜労働」実行委員会/東アジア青少年歴史体験キャンプ実行委員会/宮古島～南西諸島の自衛隊基地建設/未来のための歴史パネル展(みれば)/靖国合祀イヤですアジアネットワーク/ワークショップ・書のサロン ほか

「アジアから問われる日本の戦争」展 2020 参加予定団体 (現在 28 団体)

アジア民衆歴史センター/イアンフ・アクション・オオサカ/1%の底力で朝鮮学校の民族教育を支える会/大阪城狛犬会/韓国の原爆被害者を救済する市民の会/関西わだつみ会/写真展フクシマ実行委員会/侵略と加害の教科書展示/設置理念に則ったピースおおさかを取り戻す会/ZENKO堺・河内長野(沖縄の展示)/戦死した叔父の遺した卒業アルバム/戦跡写真展/高槻「タチソ」戦跡保存の会/屯鶴峯地下壕を考える会/中国人強制連行/とめよう戦争！伊丹自衛隊・防衛省申し入れ行動/豊中女性史を拓く会/南京大虐殺60周年大阪実行委員会/日中友好協会大阪府連合会/日中友好協会堺支部/日本近現代史を問う会/「バターン死の行進と三池炭鉱捕虜労働」実行委員会/東アジア青少年歴史体験キャンプ実行委員会/宮古島～南西諸島の自衛隊基地建設/未来のための歴史パネル展(みれば)/靖国合祀イヤですアジアネットワーク/ワークショップ・書のサロン ほか

アジア民衆歴史センター(久保井規夫主宰)

本会は、日本と関係するアジア民衆の歴史を、反戦平和・人権尊重・教育文化の分野から原本史料・書籍・文物を数十万点所蔵し、研究・調査・学習を深めるために交流する場である。郷里の香川県に平和資料館が無く、また県議会で教科書より日本軍「慰安婦」削除要請決議がなされた事を動機に、築百年の町家の蔵を所蔵庫・展示室に改装して、2006.10.1 発足した。昨年、『韓国「併合」と三一独立運動』を展示した。本年は、『アジアにおける女と子どもたちの戦争の実相』を予定している。機関紙「アジアの日本」は70号となる。

『バターン死の行進と三池炭鉱捕虜労働』

BC級戦犯で一番最初に死刑執行されたのが、由利敬という大牟田俘虜収容所分所長でした。罪名は捕虜の虐待や死亡させた罪でした。1942年フィリピンのバターン半島で日本軍の捕虜となった米の捕虜は88キロに及ぶ死の行進を強制され、その後三池炭鉱に連れてこられて強制労働を強いられました。二重にも三重にも苦難を強いられた白人捕虜は1944年当時で1478名でした。マッカーサーがなぜBC級戦犯1000人の裁判をした中でなぜ大牟田捕虜収容所分所長を一番にという意向を示したのか？等問題を掘り下げていきたいと思ひます。

「着々と進む南西島嶼軍事要塞化」

奄美大島から与那国島に連なる琉球弧(南西島嶼)に拡がる自衛隊基地建設は、全く島民を無視した軍事要塞化が急ピッチで進捗しています。辺野古新基地建設は表向きは米軍への提供基地ですが、南西島嶼は全て自衛隊専用基地で、本土のメディアでは殆ど報道されることはありません。住民へのまともな説明会も開催しないばかりでなく、辺野古基地建設と同じ完璧な違法工事が粛々と行なわれています。

今回の展示では、宮古島をメインとしたパネル、写真、映像、現地での宮古島ミサイル基地建設反対運動の「今」をお伝えしたい、と企画しています。

戦死した叔父の遺した卒業アルバム

セピア色の画面の中から、ひたむきに学ぶ高等学校生(今では大学生)の姿。3年後には皇軍兵士として侵略戦争に狩り出されたうえ「戦死」する無惨さ 怒りを感じずにはおれません。国家が戦争をするためにはそれを担う人民が必要です。皇軍の兵士がどのような教育を受けて育てられたか、その一端が分かりますと思ひます。

イアンフ・アクション・オオサカ

2017年に1年かけて「おおさかイアンフ映画祭」を実施し、その後「映画会だけでなく街宣などもやろう」と名称を変更しました。被害者がどんどん亡くなっていく中で、どうすれば日本の国家責任を問うことができるのかを考え、被害者の声を紹介するパネルを作製・展示しています。これまでは韓国の被害者のパネルばかりでしたが、今年は中国・台湾・フィリピンなどの被害者の声も伝えます。

設置理念に則ったピースおおさかを取り戻す会

《歴史の抹殺 ピースおおさかから撤去された展示》
多くの市民の反対を押し切って、松井・橋下維新が2015年のリニューアルで撤去した日本の侵略戦争の加害と被害の展示の復元布パネルや月一回ピース前などで行っているピーススタンディングの写真を展示します。皆さんにご覧いただき、このような展示が撤去されてしまった理不尽さを共有し、ピースおおさかを設置理念に則ったものに取り戻すために、多くの市民が力を一つにしましょう。

韓国の原爆被害者を救援する市民の会

広島、長崎で7万人もの朝鮮人が被爆し、4万人が死亡し、2万3千人が解放された祖国に帰国しました。

日本の植民地支配で生活が破壊され、あるいは強制連行により、渡日を余儀なくされた人々です。韓国の被爆者はこの50年間、日本政府に「被爆者援護法の平等適用」を求める裁判を闘い、勝訴を重ねてきました。今は日米両政府に「朝鮮人被爆の実態調査・謝罪・賠償」を求めています。私たちは1971年の結成以来、韓国の被爆者の闘いを支援しています。

「戦跡写真展」 三枝妙子

20年ほど前から戦争遺跡の写真撮ってきました。戦争を知る人が少なくなっている現在、「人々の記憶から過去の戦争の事実が消えてはならない」という思いで、別の形で戦争の証言者となる戦争の遺物を写真で残しています。多くの方々に見ていただいて、現在では異様と思える施設がこんなに多く造られていたんだということを感じてもらえたらと思ひます。昨年、それらをまとめた写真集を出版しましたので、併せてご覧ください。

日本戦没学生記念会(わだつみ会)

関西わだつみ会は、「はるかなる山河に」から「きけわだつみのこえ」の発刊(1949)にいたる日本戦没学生記念会の創立期の資料の展示、機関誌「わだつみのこえ」の創刊から最近号を展示したいと思ひています。

戦時下の反戦運動である「大阪商大事件」、京大反戦グループ事件、



京大在学中に徴兵され、戦後に捕虜虐待の責任を押し付けられBC級戦犯として死刑に処せられた木村久夫さんの平和への希求の思いを紹介します。

日本人学生だけでなく、朝鮮・台湾出身の学生にもほぼ強制的な「学徒出陣」が行われました。そして朝鮮では徴兵制が施行され多くの人々が兵士・軍属として戦場に動員されました。戦後補償問題では朝鮮人元BC級戦犯問題等多くの解決されていない問題があります。

南京大虐殺 60 年大阪実行委員会

「南京大虐殺ってほんとうにあったの？」

過去の戦争の実態を知ることが次の戦争を止める力になると信じて。展示を通して南京の歴史の真実を正しく知ってください。あの戦争で記憶すべき事実・殺しつくし・侵しつくし・焼きつくし・奪いつくす！正視できえないこの罪業。しかし、これを否定することは被害者を再び冒瀆することとなる。

世界は許さない。加害者としての日本を忘れないで。

1%の底力で朝鮮学校の民族教育を支える会

1%の底力で朝鮮学校の民族教育を支える会は、参加者それぞれが月収の1%を出し合って朝鮮学校を支える活動を続けて来ています。今までに鉄棒、チャイム、パソコン・・・etcを朝鮮学校へ寄贈したりしました。戦争展では「阪神教育闘争と朝鮮戦争」をテーマに、朝鮮学校の民族教育を守る活動は平和を守る活動であることを展示を通じて訴えます。

大阪城 狛犬会

大阪城の西ノ丸庭園北門には中国明代の白玉石の狛犬が鎮座しています。中国でも国宝級と言われる狛犬が何故大阪城に置かれているのか？横にある説明板を読んでもその答えはありません。

1937年7月7日、日本軍は盧溝橋事件を引き起こし全面的な中国侵略を開始。7月29日、天津市を空爆、天津市政府庁舎の前に置かれていた狛犬が爆風で転げ落ちたものを、戦利品として持ち帰りました。同年12月には南京に侵攻し大虐殺を行います。日本では「勝利」に沸き返り、ちょうちん行列が各地で行われました。翌1938年の4月1日からは西宮球場とその外苑の広大な会場で「支那事変聖戦博覧会」が開かれ、「侵略戦争」を「聖戦」と美化して宣伝しました。その会場に飾られたのが天津から略奪してきた狛犬でした。

その後、東洋最大の武器製造工場である「大阪砲兵工廠」と第四師団司令部があった大阪城に移されました。私たちは、狛犬の正しい由来を記した説明板の設置を求めるとともに、大阪城に残る大阪砲兵工廠の戦跡を保存し、日本軍の犠牲となったアジアの人々を追悼する施設を建設し、大阪城公園を平和公園にすることを求めています。（大阪城狛犬会）文責 山橋

堺・泉北教科書展実行委員会

「侵略と加害の教科書展示」近現代史の中での日本の「戦争責任」「植民地支配の責任」をキーワードにして現行教科書の内容を検討し、より多くの方と考え合いたい。侵略や加害の事実を目をふさぎ、消し去ろうとする一連の風潮の中で、きちんと歴史の真実を検証し合う展示と新鮮な学びの『共同の広場』を作りたいと願っています。一度今使われている小・中学校の社会科と、教科道徳の教科書を手にとって読み合いませんか。そして子どもたちに決して「戦争教科書」ではないより良い教科書を手渡せるように研究し合いませんか！

「ドキュメンタリー映画

「ウトロ 家族の街」(2002年公開作品)

戦後57年、日本に故郷を築いた「在日」の物語。京都府宇治市にある在日朝鮮人の街「ウトロ」。現在この町の住民達は立ち退きを迫られている。親子四代にわたってウトロに住む田中(徐)信雄(57)にとって、ここはかけがえのない故郷。映画は彼の一家を中心に、故郷に住み続けるために闘いながら独自の文化を守って生きるウトロの人々の日常を描き、ここに住み続ける意味を問う。18年前のウトロの姿を描いた映画を今是非観てください。 [予告編](#)

<https://www.youtube.com/watch?v=7O-GXF3sir4>

とめよう戦争！伊丹自衛隊・防衛省申し入れ行動

2004年に伊丹自衛隊第三師団からイラクサマワに派兵される動きがある時から、海外派兵をするな、と訴えて来ました。今年4月26日で181回目となります。

PKO 派兵に始まりイラク派兵そして今中東へ派兵をするようになり憲法9条が破壊されつつあります。二度と再び戦争をする国にならないように声を上げています。



高槻「タチソ」戦跡保存の会

高槻地下倉庫の頭文字を並べた暗号名で「タチソ」と呼ばれた高槻市成合の地下トンネル群は、米軍の激しい本土空襲が開始される1944年末から、本土決戦遂行のため日本各地で掘られたトンネル群の一つ。土地の強制収用や勤労奉仕、朝鮮人に対する強制労働があったことを今に伝える貴重な戦争遺跡。この戦跡を通じて戦争の愚かさ・悲惨さ・非人道性を伝えることが、平和を希求する人間の責務ではないかと考えて活動しています。

屯鶴峯地下壕を考える会

奈良県と大阪府の県境、二上山の麓に「どんづるぼろ」と呼ばれる景勝地があります。その地下には戦争末期に陸軍が朝鮮人兵士を動員して掘削した二つの巨大な地下壕が敗戦当時の姿のまま現存しています。「あみだくじ」のように掘られた地下壕は縦横あわせると約1700mにもなります。内部に入ると、ツルハシで削ったあと、ダイナマイトをしかける穴などが生々しく残っています。地下壕は本土決戦時に陸軍の航空部隊・特攻機の指揮をする施設として建設され、完成を見ることなく敗戦により、工事が中止されました。

私達屯鶴峯地下壕を考える会は20年以上に渡り、市民向けの見学会、また学校職員、市民団体のフィールドワーク等で地下壕をできるだけ多くの人に見てもらおうと活動してきました。しかし、地下壕の存在を知る人はまだまだ少数です。これからも一人でも多くの人に地下壕を見てもらい、戦争の悲惨さと愚かさを感じていただきたいと思っています。

日中戦争での毒ガス戦

(日本中国友好協会堺支部)

日清・日露・日中・アジア太平洋と続く一連の諸戦争を通じて日本が目指したものが、日中戦争での毒ガス使用の事実に象徴的に現れていると思います。その観点から毒ガス戦問題を取り上げて、世界史にも関連させて、その歴史的経過を考えるための展示研究を行います。戦争での日本軍の個々の犯罪行動を一つ一つ知る事を積み重ねて見えてくるものを追求したいと思います。

東アジア青少年歴史体験キャンプ

「2001年の教科書問題をきっかけに日中韓など東アジアの市民の共同がはじまり、その一つとして2002年青少年歴史体験キャンプがスタートしました。東アジアの「歴史認識の共有」をめざして過去・現在・未来を学びあい、友情を育むことを目的として、毎年5泊6日のサマーキャンプを実施しています。キャンプ地を3国でまわし、日本では京都、沖縄、安房、北海道、東京などで開催、地元の市民団体と共催してきました。」最近3年間のキャンプの内容をまとめた文章が、雑誌『教育』7月号に掲載されます。参考にしていただければうれしい限りです。

ZENKO堺・河内長野

ZENKO「平和と民主主義をめざす全国交歓会」は、戦争・貧困・原発をなくし、公平で平和で安心して暮らせる社会をめざしている市民運動団体です。

戦争展では、沖縄辺野古の新基地建設の現状を伝える展示と、DVD「ドローンの眼」「辺野古新基地建設の問題点」の上映。そして、朝鮮人軍夫の強制連行、及び、韓国と沖縄とに建立された「恨(ハン)の碑」の意義とを伝える予定です。

ワークショップ・「書のサロン」

「書のサロン」は古典の書に根差しながら現代書を探求し書を楽しむ会です。主宰者としては社会的なテーマの表現をめざし、これまでも各地で個展・二人展において「慰安婦」・植民地・戦争・ヤスクニ・識字学級・フクシマなどのテーマに取り組んできました。

今回スペースが許されれば「フクシマ」の作品も出せたらうれしいのですが…。ワークショップは畳1枚分の紙に特大筆で、墨や絵具で戦争展でのみなさんの思いの表現をサポートします。

未来のための歴史パネル展(みれば)

日本と朝鮮半島間の近代史、現代史の主要なトピックをパネルにして、あちこちで展示をしています。私たちの目的は、日本に蔓延している歴史修正主義とレイシズムを克服すること、そして東アジアにかかわりを持つ誰もが納得できるような歴史認識をつくることです。この目的のために、様々な立場の人の意見を反映した正確かつ分かりやすい内容のパネル(約50枚)を制作しました。どこでも展示します。ぜひご利用ください。

長谷川テル反戦・平和に生涯を

(日中友好協会大阪府連合会)

1912年3月山梨出生。奈良女高師3年時、治安維持法違反で検挙、退学。37年4月留学生の夫劉仁を追って上海着(7月盧溝橋事件勃発)、38年武漢から日本軍将兵に向かって反戦ラジオ放送開始。武漢陥落、重慶に移り放送再開。日本敗戦。

夫の故郷満州復興に向かう。1947年1月、黒龍江省佳木斯で中絶手術後、感染症で死去、34歳。長男劉星(故人)、長女長谷川暁子を遺す。

中国人強制連行と強制労働 決して忘れてはならない歴史があります

「中国人強制連行と強制労働」は赤裸な「暴力性」にその特徴があります。連行された中国人はほとんどが中国兵の俘虜や、「討伐戦」で「捕獲された」農民たちでした。平時でも街中や、家から突然連行された一般市民も多くいました。

南京大虐殺や各地でくり広げられた「三光政策(殺し尽くし、焼き尽くし、奪い尽くす)」を例に挙げるまでもなく、日本侵略者にとって、中国人は老若男女を問わず、「殺して当然」の存在でした。日本に連行された中国人たちは正に「殺す前に、その労働力を絞り尽くす」存在に過ぎなかったのです。

日本には約4万人の中国人が連行されていますが、僅か一年あまりの間に、実に7千人近くが、牛馬以下の生活条件の下で、重労働を強いられた挙げ句に惨殺されています。その死亡率は、日本の「被害」を語るときによく例に挙がる「シベリア抑留での強制労働」よりはるかに高いものでした。「花岡」に連行された中国人に至っては、約千人の被連行者の内、実にその半数近い418人が亡くなっています。

「戦争展」では、こうした忘れてはならない史実と、「花岡事件」に象徴される中国人たちの蜂起、そして今日まで延々と続く当人や遺族・家族たちの被害の実情と抵抗の歴史を展示したいと思います。

中国人強制連行 聯誼会連合を支える会

豊中女性史を拓く会



とよなか男女共同参画推進センター「すてっぷ」の登録団体。

戦中・戦直後の豊中周辺での女性たちの生活体験についての聞き取り調査、他グループと共同での、女性初の豊中市議員「飯田じづえ」さんの資料発掘を通じて、戦後当時、米軍によって接収された農地取り上げ、米軍犯罪、女性への性暴力、騒音問題などを抱えた「伊丹AIRBASE」撤去運動などの歩みをたどります。

編集後記 突然の延期、そして「外出自粛」によっても、参加団体の「戦争展」かける意欲は消すことは出来ない。ニューズレターを発行を決めると瞬間に原稿が到着しました。一部は次号にまわさざるを得ないことをお詫びいたします。次号では上映予定の映画紹介も。(N. N)